

科目名	日韓朝関係論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	吉澤 文寿	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-330012	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	この講義は「日本史（近現代）」および「韓国朝鮮史概説」の内容をふまえて、植民地支配と南北分断の問題をテーマとして、おもに1945年から現在までの日本と南北朝鮮との関係を考察することにより、朝鮮現代史および日朝関係史を連関させて理解することを目指す。				
学修到達目標	受講者が日本と南北朝鮮との関係の概要を習得したうえで、1) みずからの関心に即してテーマを設定し、2) そのテーマに即した文献および資料を収集および分析し、3) 一定の結論に到達できることを目指す。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	講義の概要、レポート作成および参考文献案内
第2回	問題の所在（1）…植民地支配をどのように問うのか
第3回	問題の所在（2-1）…朝鮮の「解放」、そして分断体制の成立と日本

第4回	問題の所在（2-2）…朝鮮戦争、そして日本との関係について
第5回	問題の所在（3）…在日朝鮮人の形成（1945～1952年）
第6回	在日朝鮮人帰国事業～1950年代の日朝関係
第7回	日韓国交正常化（1965年）
第8回	米中和解と南北対話の開始～南北共同声明（1972年）をめぐる展開を中心に
第9回	1970・80年代の日本と南北朝鮮～経済と人権の問題を中心に
第10回	在日朝鮮人と日本社会～1970・80年代を中心に
第11回	脱冷戦と南北対話の進展（1987年～現在）
第12回	日韓関係における「過去清算」問題
第13回	日韓国交正常化交渉

第14回	脱冷戦期の在日朝鮮人と日本社会
第15回	まとめ…現在の日本と南北朝鮮との関係と私たちの課題
第16回	定期試験（レポート提出）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。事前配布資料の予習。
【復習】時間・内容	2時間。自主学习により、講義の内容を深く理解する。

成績評価	
評価基準・方法	期末レポート（70%）および講義ごとに配布するコメントカード（30%）により成績評価を行う。 上記15回の講義のうち、1回分を課題レポートに代替する。詳細は授業中に指示する。
フィードバック方法	コメントカードは授業中に公表し、講評を加える。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	教科書は使用しない。講義時にレジユメを配布する。
受講上の留意点等	本講義を理解する上で、「日本史（近現代）」および「韓国朝鮮史概説」を履修しておくことが望ましい。
JABEE	